

## はじめに

羽村市の一部、約 0.417 km<sup>2</sup>を占有する横田基地は、基地常駐の輸送機等の移動による航空機騒音を始め、基地が所在することに起因する事件や事故の発生など、市民生活に多大な影響を及ぼしております。

横田基地は、米軍の極東における重要な軍事拠点であり、「日米安全保障条約」等の取決めにより置かれているため、その存在の是非を問うことは、現実的には難しい面があることは否定できませんが、羽村市では、基地に起因する様々な問題の解決を図るため、東京都並びに基地周辺市町と緊密に連携し、国及び米軍に対し継続的に要請を行ってきております。

近年では、令和元年度以降、5年連続で行われている無人偵察機グローバルホークの横田基地への一時展開や、クラッチを原因とする CV-22 オスプレイの地上待機措置とその解除、鹿児島県屋久島沖合における CV-22 オスプレイ 1機の墜落、頻発する横田基地関係者による飲酒事故などに対し、東京都並びに基地周辺市町との連携の下に対応しており、今後も、こうした様々な事象に対する市民の皆様の声や、地元自治体からの要請事項が完全に履行されるよう、粘り強く働きかけ、安全・安心で良好な生活環境の確保に努めてまいります。

本書は、横田基地をめぐる羽村市の現状を知っていただくため、基地対策関係事務の概要をまとめたものです。

基地問題について考える際の参考となれば幸いです。

改訂版の発刊にあたり、資料のご提供をはじめ、御指導・御協力を賜りました関係各位に厚く御礼申し上げます。

令和6年1月

羽村市長 橋本 弘山

## 第1章 羽村市の概要

### 1. 地勢

都心部から西に約 45 km、武蔵野台地の一角、多摩川の河岸段丘上に位置している。東は瑞穂町、南は福生市・あきる野市、西は青梅市、そして北は青梅市と瑞穂町に接しており、その広さは、東西に 4.23 km、南北に 3.27 km、行政面積は 9.90 km<sup>2</sup>となっている。なお、行政面積の一部 0.417 km<sup>2</sup>を横田基地が占めている。

### 2. 沿革

現在の羽村市は、江戸時代まで武蔵野の典型的な農村であったが、承応 2 年（1653 年）、4 代将軍家綱の時代に多摩川に水源を求め、羽村を取入口として玉川上水が開削されてからは、活況を呈するようになった。

江戸幕府の役所（陣屋）が設けられ、多摩川の水が江戸まで送られるようになると、江戸との交流も頻繁となり、玉川上水の維持・管理や改修工事の請負等で経済的にも活性化していった。

その後、明治 22 年（1889 年）に市町村制が施行され、当時の羽村、五ノ神村、川崎村が合併し、現在の羽村市の前身である「西多摩村」（人口 3,132 人、戸数 501）が誕生、明治 26 年（1893 年）には神奈川県から東京府（現東京都）に移管された。

西多摩村は、明治、大正、昭和と先覚者の努力により徐々に近代化を進め、特に明治末期から昭和初期には養蚕業が大きく発展、その名を全国に高めたが、その後は不況、戦時体制への突入により、人々の生活は苦しくなっていた。

戦後は、畜産を中心として復興が行われ、進取の気性に富んだ往時の人々により首都圏近郊農業への模索が行われる中で、都市化の傾向が徐々に現れ、人口も増加していき、昭和 31 年（1956 年）の町制施行で、人口 10,104 人、1,887 世帯の「羽村町」となった。

その後、昭和 37 年（1962 年）に首都圏整備法による市街地開発区域に指定され、土地区画整理事業を進めるとともに、工場誘致を行い、産業形態は一変した。

工場の進出に伴い、市街地が整備され、人口も急増し、現在のように工業都市と住宅都市が調和した職住近接の近代都市として活況を呈してきた。

こうした中、平成 3 年（1991 年）11 月 1 日に市制を施行し、「羽村市」（当時：人口 53,381 人、19,386 世帯）が誕生し、令和 3 年（2021 年）には、市制施行 30 周年を迎えた。

### 3. 市勢の概要

#### (1) 面積・位置等

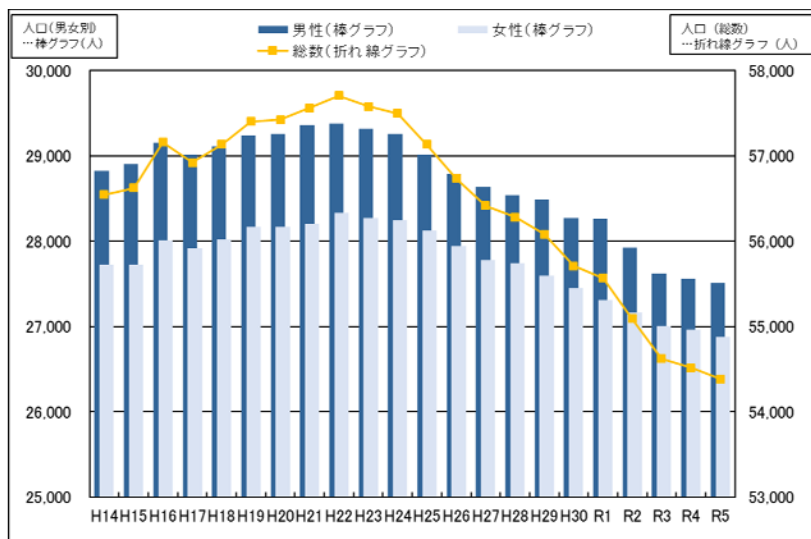
行政面積	9.90 km <sup>2</sup>	市町村コード	132276
位置	東経 139 度 19 分 北緯 35 度 46 分	町を市とする告示	自治省告示第 127 号 (平成 3 年 8 月 20 日官報第 713 号)

※行政面積は、全国の市で 7 番目、都内では 3 番目に小さく、人口は、東京都の市で最も少ない。

#### (2) 人口・世帯

年度	区分	人口			うち外国人住民人口		
		総数	性別		外国人住民	性別	
令和 5 年度	人口	54,386 人	男	27,511 人	1,610 人	男	772 人
			女	26,875 人		女	838 人
	年少人口	6,210 人	( 11.4 %)		総数に占める外国人の割合 3.0 %		
	生産年齢人口	33,554 人	( 61.7 %)				
	老年人口	14,622 人	( 26.9 %)				
世帯数	26,382 世帯			811 世帯			
令和 4 年度	人口	54,514 人	男	27,556 人	1,427 人	男	657 人
			女	26,958 人		女	770 人
	年少人口	6,381 人	( 11.7 %)		総数に占める外国人の割合 2.6 %		
	生産年齢人口	33,485 人	( 61.4 %)				
	老年人口	14,648 人	( 26.9 %)				
世帯数	26,070 世帯			670 世帯			

※年少人口：14 歳以下、生産年齢人口：15～64 歳、老年人口：65 歳以上（各年度 4 月 1 日現在）



(各年度 4 月 1 日現在)

(3) 人口密度

令和5年度	令和4年度
5,494 人/km <sup>2</sup>	5,506 人/km <sup>2</sup>

(各年度4月1日現在)

## 4. 財政

(1) 令和5年度予算

区	分	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率	
一	般 会 計	23,697,000	22,461,000	1,236,000	5.5	
特	別 会 計	13,118,300	12,859,000	259,300	2.0	
	国民健康保険事業会計	5,926,300	5,893,900	32,400	0.5	
	後期高齢者医療会計	1,497,800	1,407,000	90,800	6.5	
	介護保険事業会計	4,143,700	4,017,100	126,600	3.2	
	羽村駅西口土地区画整理事業会計	1,550,500	1,541,000	9,500	0.6	
水道事業会計	収益的	収入	1,109,209	1,098,461	10,748	1.0
		支出	941,743	899,098	42,645	4.7
	資本的	収入	350,450	395,070	▲44,620	▲11.3
		支出	775,016	837,797	▲62,781	▲7.5
下水道事業会計	収益的	収入	1,028,299	1,040,710	▲12,411	▲1.2
		支出	1,156,237	1,145,889	10,348	0.9
	資本的	収入	293,479	278,150	15,329	5.5
		支出	592,783	573,577	19,206	3.3
全 会 計 単 純 合 計		40,281,079	38,776,361	1,504,718	3.9	

(2) 普通会計決算財政指標等

区	分	令和3年度	令和2年度
歳入	総額	26,794,375 千円	30,408,654 千円
歳出	総額	25,279,633 千円	29,332,265 千円
経常	収支比率	91.4 %	100.2 %
公債	費負担比率	5.9 %	6.6 %
人件	費構成割合	14.7 %	12.2 %
標準	財政規模	12,050,511 千円	11,588,578 千円
財政	力指数	(※1) 0.963 (※2) 0.925	(※1) 0.980 (※2) 0.979

(※1: 3ヵ年平均 ※2: 単年度)

(3) 普通交付税の状況

区 分		令和4年度	令和3年度	令和2年度
基準財政需要額(※)		9,234,747 千円	8,871,336 千円	8,833,897 千円
基準財政収入額(※)		8,546,547 千円	8,210,070 千円	8,653,291 千円
財源超過・不足(▲)額		▲688,200 千円	▲661,266 千円	▲180,606 千円
普通交付税額		688,200 千円	661,266 千円	176,093 千円
財政力指数	(単年度)	0.926	0.925	0.979
	(3カ年)	0.943	0.963	0.980

(※錯誤措置額含む)

(4) 基金の状況

名 称	残 高	市民1人あたり
一 般 会 計	2,969,555 千円	54,378 円
財政調整基金	2,047,896 千円	37,501 円
減債基金	251,004 千円	4,596 円
特定目的基金	670,655 千円	12,281 円
国民健康保険事業会計 (国民健康保険事業運営基金)	6,025 千円	110 円
介護保険事業会計 (介護給付費準備基金)	441,705 千円	8,089 円
合 計	3,417,285 千円	62,577 円

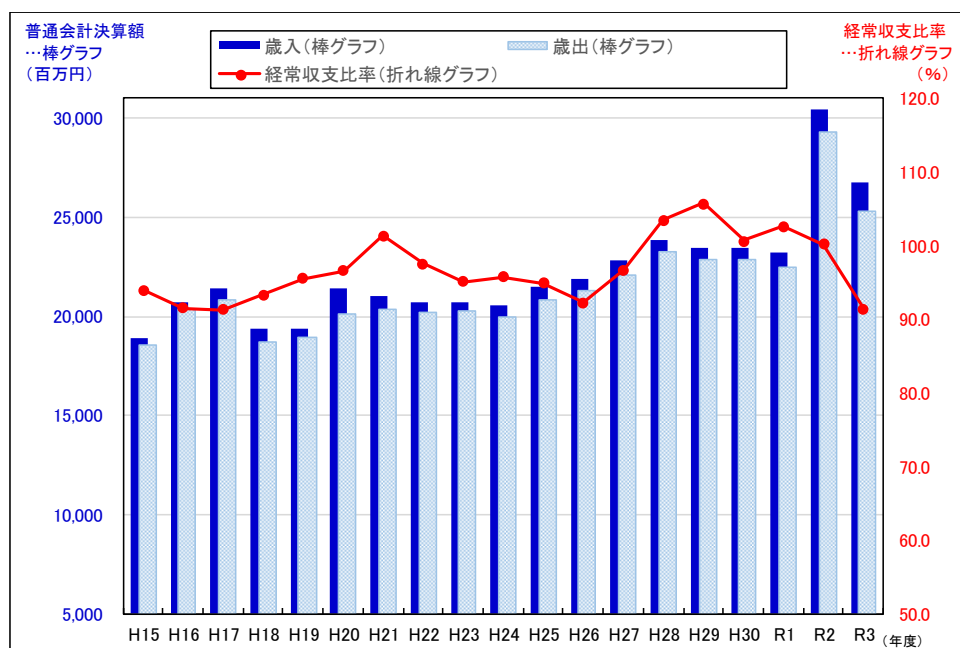
(令和3年度決算額/令和4年1月1日人口 54,609人)

(5) 地方債の状況

名 称	残 高	市民1人あたり
一 般 会 計	8,000,798 千円	146,511 円
羽村駅西口土地区画整理事業会計	2,639,715 千円	48,338 円
水道事業会計	2,250,651 千円	41,214 円
下水道事業会計	3,791,831 千円	69,436 円
合 計	16,682,995 千円	305,499 円

(令和3年度決算額/令和4年1月1日人口 54,609人)

(6) 普通会計決算額等の推移



## 5. 都市整備事業

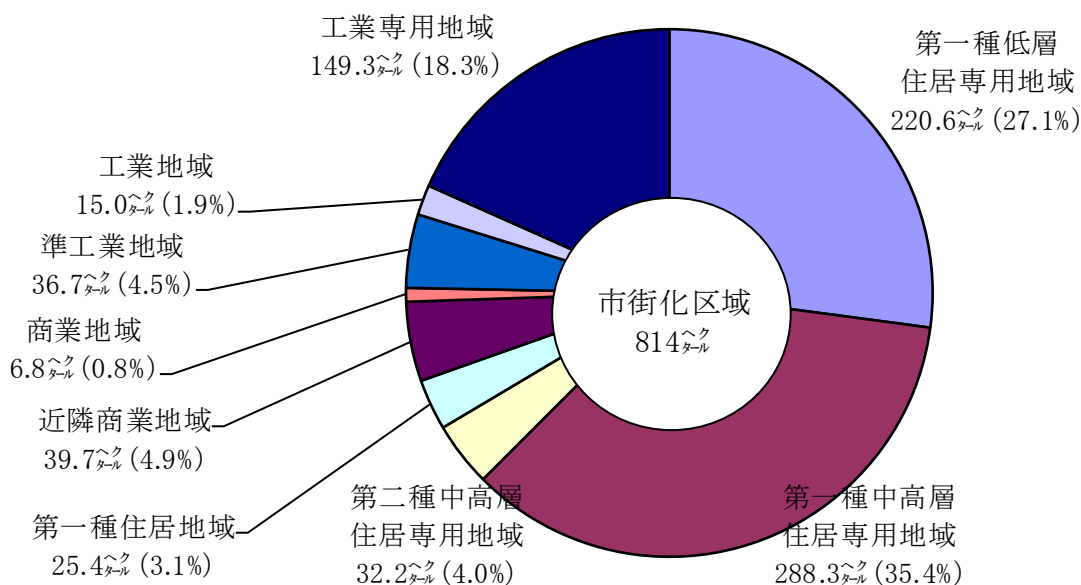
(1) 沿革

昭和 31 年	10 月	町制施行	
32 年	12 月	福生都市計画区域に指定	
34 年	2 月	上水道事業スタート	
36 年	10 月	都市計画の基本となる道路、公園等の都市計画決定	
37 年	6 月	首都圏整備法による市街地開発区域に指定	
41 年	8 月	青梅・羽村土地区画整理事業完了	施行面積：100.7 ㊦
44 年	3 月	神明台土地区画整理事業完了	施行面積：123.75 ㊦
49 年	3 月	公共下水道事業着手	
54 年	4 月	富士見平土地区画整理事業完了	施行面積：224.43 ㊦
平成 3 年	11 月	市制施行	
5 年	11 月	小作台土地区画整理事業完了	施行面積：65.92 ㊦
13 年	2 月	羽ヶ上土地区画整理事業完了	施行面積：19.2 ㊦
15 年	4 月	羽村駅西口土地区画整理事業	事業計画決定 施行面積：42.39 ㊦

(2) 市街化区域内の用途地域別内訳

都市計画区域面積： ※行政面積とは異なります。	991 ㏊	市街化区域：	814 ㏊
		市街化調整区域：	177 ㏊

住居系地域	566.5 ㏊	69.6 %
商業系地域	46.5 ㏊	5.7 %
工業系地域	201.0 ㏊	24.7 %



(令和5年4月1日現在)

(3) 市街化区域における土地区画整理事業の実施状況

区分	面積
施行済 (5地区)	533.98 ㏊
施行地区	42.39 ㏊
市街化区域面積	814.00 ㏊

(令和5年4月1日現在)

※施行済面積は、小作台土地区画整理事業と羽ヶ上土地区画整理事業の重複分(0.11㏊)を除いた面積です。また、施行地区は、羽村駅西口土地区画整理事業施行地区です。

## (4) 道路の状況

区 分	路線数	道 路 延 長	道 路 面 積
国 道	1	430 m	10,556 m <sup>2</sup>
圏 央 道	1	175 m	4,435 m <sup>2</sup>
都 道	8	16,461 m	275,872 m <sup>2</sup>
市 道	801	147,609 m	1,041,620 m <sup>2</sup>
合 計	811	164,675 m	1,332,483 m <sup>2</sup>

(令和5年4月1日現在)

## (5) 都市計画道路の状況

路線数	区域内計画延長	執 行 済 延 長	執 行 率
18	26.721 m	24.297 m	90.93 %

(令和5年4月1日現在)

## (6) 公園の状況

区 分	設置数	面 積	人口1人あたり面積
公 園	72	350,537 m <sup>2</sup>	6.4 m <sup>2</sup> /人
児童遊園	13	12,700 m <sup>2</sup>	0.2 m <sup>2</sup> /人

(令和5年4月1日現在/人口 54,386人)

## (7) 上水道事業の状況

給水区域内人口	給 水 人 口	普 及 率
54,335 人	54,335 人	100.0 %

※横田基地内人口を除く (令和5年4月1日現在)

## (8) 下水道(汚水)事業の状況

区 分		面 積	達 成 率
整 備 状 況	事業認可面積	860.48 ㍍ <sup>2</sup>	95.5 %
	整備済面積	822.10 ㍍ <sup>2</sup>	
普 及 状 況	総 人 口	54,386 人	100.0 %
	普 及 人 口	54,386 人	

(令和5年4月1日現在)



## 6. 産業

区 分	数	備 考	調 査 資 料
工 場 数	69	従業員 7,579 人（従業員数 4 人以上の事業所のみ） 年間出荷額 6,012 億 3,895 万円	2020 東京の工業
商 店 数	796	従業員 6,131 人 年間販売額 1,302 億 5,800 万円	平成 28 年 経済センサス
農 家 数	94	販売農家 49 戸、自給的農家 45 戸	2020 農林業 センサス

## 7. 主要公共施設

施 設	数	延床面積 (㎡)	規 模 等	開設 年度	
教 育 施 設	小 学 校	7	-	羽村東、羽村西、富士見、栄、松林、小作台、武蔵野小学校	-
	中 学 校	3	-	羽村第一、羽村第二、羽村第三中学校	-
	生涯学習センター ゆとろぎ	1	9,591	SRC5 階地下 1 階 大ホール（854 席）・小ホール（252 席）・レセプションホール・リハーサル室・音楽練習室・展示室・創作室・和室・保育室・会議室・講座室・学習室等	H18
	図 書 館	1	3,279	RC4 階地下 1 階 蔵書数 415,184 冊・視聴覚資料（VT・DVD・CD・カセットテープ）19,154 点	H12
	スポーツセンター	1	6,302	RC2 階 ホール・トレーニングルーム等	S56
	スイミングセンター (H18～指定管理者制度)	1	3,229	RC2 階 屋内温室プール(25m・幼児等)	H2
	弓 道 場 (H17～指定管理者制度)	1	1,599 (敷地面積)	鉄骨造平屋建 射場 5 人立・会議室等	H17
	郷 土 博 物 館	1	1,837	RC3 階 資料約 16 万点	S60
	教 育 相 談 室	1	389	LGS1 階 相談室・多目的室・プレイルーム等	H10
福 祉 施 設	中 央 児 童 館	1	512	RC2 階 プラネタ室（46 席）・35cm 天体望遠鏡等	S57
	西 児 童 館	1	799	RC3 階 ビデオコーナー・プレイルーム等	H4
	東 児 童 館	1	1,707	RC3 階地下 1 階 体育室・アスレチック遊具等	H10
	学童クラブ	12	-	奈賀、東、松林、小作台、武蔵野、武蔵野第二、富士見、富士見第二、栄、栄第二、小作台第二、西学童クラブ	-

施設		数	延床面積 (m <sup>2</sup> )	規模等	開設 年度
	高齢者在宅サービス センターいこいの里	1	1,660	RC2階 高齢者デイサービスセンター・老人福祉 センター(A型)併設施設	H4
	福祉センター	1	3,126	RC2階地下1階 障害者生活介護事業「さくら」・ 障害者就労継続支援B型事業「いちよう」・地域 活動支援センターI型事業「あおば」等	H11
保健 施設	保健センター	1	1,497	RC2階 予診・健診・歯科健診室・栄養指導室・ 保健指導室・相談室・研修室	H11
	平日夜間急患センター	1	202	RC2階 内科・小児科	S62
	コミュニティセンター	1	2,844	RC3階地下1階 ホール180席・老人福祉センタ ー併設	S60
	産業福祉センター	1	1,050	RC2階 電腦寺子屋・電腦会議室・iホール等	H12
	農産物直売所 (H17～指定管理者制度)	1	330	鉄骨造平屋建 売場・事務所・倉庫等	H13
	リサイクルセンター	1	2,990	管理棟S2階 施設棟S2階 ストックヤード 処 理能力30t/5h	H8
	富士見斎場	1	613	RC1階 200人収容	S53
	富士見霊園	1	13,870 (敷地面積)	区画墓地(第1～3霊園) 合葬式墓地(納骨壇・合葬室)	S47
	動物公園 (H20～指定管理者制度)	1	42,691 (敷地面積)	哺乳類26種・鳥類31種・爬虫類9種・両生類1 種・魚類等5種・無脊椎1種(73種、548点)	S53
	水道事務所	1	1,730	RC3階地下1階 第1配水場配水塔併設	H4
	高度浄水施設	1	681	RC2階 膜ろ過棟・膜ろ過施設併設	H15

## 8. 羽村のまちづくりの変遷

### 【昭和30年～40年代】

- ・ 昭和31年10月1日 町制施行(人口10,104人、1,886世帯)  
西多摩村から羽村町となる。
- ・ 首都圏整備法に基づく市街地開発区域の指定を受け、都市基盤の整備が進められた。  
工場誘致・土地区画整理事業等を推進し、農村から都市へと発展した。
- ・ 職住近接のまちづくり

#### 公共施設の整備

- ・ 富士見霊園(昭和47年度)
- ・ 水上公園(昭和47年度)
- ・ 図書館(昭和48年度)
- ・ 公民館(昭和49年度)

## 【昭和 50 年～60 年代】

- ・ 第一次長期総合計画（昭和 50～60 年度）の推進
- ・ 第二次長期総合計画（昭和 61～平成 3 年度）の推進
- ・ 急激な人口増加に対応した教育施設整備（松林小学校・小作台小学校・武蔵野小学校・羽村第三中学校の開校）の推進

### コミュニティの醸成と青少年健全育成の推進

- ・ 青少年健全育成の町宣言（昭和 58 年 2 月 13 日）
- ・ 花いっぱい運動（昭和 58 年度）

### 公共施設の整備

- ・ 富士見斎場（昭和 53 年度）
- ・ 動物公園（昭和 53 年度）
- ・ 羽村町役場庁舎移転（昭和 53 年度）
- ・ スポーツセンター（昭和 56 年度）
- ・ 中央児童館（昭和 57 年度）
- ・ 保健センター（昭和 57 年度）
- ・ コミュニティセンター（昭和 60 年度）
- ・ 郷土博物館（昭和 60 年度）
- ・ 富士見学童クラブ（昭和 61 年度）
- ・ 平日夜間急患センター（昭和 62 年度）
- ・ 栄学童クラブ（昭和 62 年度）
- ・ 東学童クラブ（昭和 63 年度）

## 【平成元年～10 年代】

### 市制施行と長期総合計画によるまちづくり

- ・ 美しいまちづくり基本条例の制定（平成 2 年 4 月 1 日施行）
- ・ 平成 3 年 11 月 1 日 市制施行（人口 53,381 人、19,386 世帯）  
羽村町から羽村市となる。  
市民憲章の制定（平成 3 年 11 月 1 日）  
市の歌の制定（平成 3 年 11 月 1 日）
- ・ 第三次長期総合計画（平成 4～13 年度）によるまちづくりの推進  
市の将来像「人と自然にやさしく 活力あふれるまち はむら」
- ・ 第 1 次羽村市女性行動計画（平成 5～14 年度）の推進
- ・ 平和都市宣言（平成 7 年 8 月 10 日制定）
- ・ 男女共同参画都市宣言（平成 9 年 11 月 1 日制定）
- ・ 羽村市環境基本計画（平成 13～24 年度：平成 18 年度改訂）の推進
- ・ 羽村市環境基本条例の制定（平成 14 年 4 月 1 日施行）

- ・第四次長期総合計画（平成 14～23 年度）によるまちづくりの推進  
市の将来像「～ひとに心 まちに風～ いきいき生活・しあわせ実感都市 はむら」
- ・はむら男女共同参画推進プラン（平成 14～18 年度）の推進
- ・はむら男女共同参画推進プラン後期実施計画（平成 19～23 年度）の推進
- ・羽村市男女共同参画推進条例の制定（平成 19 年 4 月 1 日施行）

#### 公共施設の整備

- ・羽村市自然休暇村（平成元年度）
- ・スイミングセンター（平成 2 年度）
- ・西児童館（平成 4 年度）
- ・高齢者在宅サービスセンターいこいの里（平成 4 年度）
- ・天竺運動公園（平成 4 年度）
- ・水道事務所及び配水塔（平成 4 年度）
- ・市役所庁舎東棟（平成 5 年度）
- ・羽村第二中学校講堂（平成 5 年度）
- ・市営住宅富士見平高齢者住宅（平成 6 年度）
- ・リサイクルセンター（平成 8 年度）
- ・水上公園リニューアル（平成 8 年度）
- ・浄水場及び工業用水道配水場（平成 8 年度）
- ・川崎公園（平成 8 年度）
- ・小作駅東口ペDESTリアンデッキ（平成 9 年度）
- ・教育相談室及び学校適応指導教室（平成 10 年度）
- ・東児童館（平成 10 年度）
- ・保健センター移転（平成 11 年度）
- ・福祉センター（平成 11 年度）
- ・踊子草公園（平成 11 年度）
- ・小作台第二学童クラブ（平成 11 年度）
- ・図書館移転（平成 12 年度）
- ・産業福祉センター（平成 12 年度）
- ・富士見学童クラブ増築（現富士見第二学童クラブ）（平成 12 年度）
- ・松林学童クラブ（平成 13 年度）
- ・農産物直売所（平成 13 年度）
- ・動物公園サバンナ園（平成 15 年度）
- ・高度浄水施設（平成 15 年度）
- ・動物公園スタディホール（平成 16 年度）
- ・弓道場（平成 17 年度）
- ・生涯学習センターゆとろぎ（平成 18 年度）

- ・西学童クラブ（平成 18 年度）
- ・羽村駅西口土地区画整理事務所（平成 19 年度）
- ・羽村駅西口駅舎（平成 19 年度）

#### 生涯学習の推進

- ・第 1 次生涯学習推進基本計画の推進
- ・第 2 次生涯学習推進基本計画の推進
- ・第 3 次生涯学習推進基本計画（平成 15～24 年度）の推進

#### 行財政改革の取組み

- ・行財政緊急対策（平成 6～7 年度）の推進
- ・第二次行政改革大綱（平成 8～13 年度）の推進
- ・第三次行政改革大綱（平成 14～16 年度）の推進
- ・行政評価の導入（平成 14 年度）
- ・行財政改革推進プラン（平成 17～23 年度）の推進

#### 【平成 20 年～30 年代】

- ・基本構想の議決に関する条例の制定（平成 23 年 10 月 17 日施行）
- ・第五次長期総合計画（平成 24～33 年度）によるまちづくりの推進  
市の将来像「ひとが輝き みんなでつくる 安心と活力のまち はむら」
- ・羽村市男女共同参画基本計画（平成 24～28 年度）の推進
- ・第 68 回国民体育大会（東京多摩国体）の開催（平成 25 年度）
- ・羽村市環境とみどりの基本計画（平成 26～35 年度）による環境・みどり・生物多様性の包括的推進
- ・第 4 次羽村市男女共同参画基本計画（平成 29～33 年度）の推進
- ・第一次産業振興計画（平成 28～33 年度）の推進
- ・スマートな交通システム（平成 23 年度～）及び AZEMS（エイゼムス）プロジェクト平成 29 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞（平成 29 年度）

#### 公共施設の整備

- ・小作駅東口市民パトロールセンター（平成 22 年度）
- ・羽村駅西口市民パトロールセンター（平成 23 年度）
- ・栄第二学童クラブ（平成 23 年度）
- ・富士見霊園拡張（平成 25 年度）
- ・武蔵野第二学童クラブ（平成 28 年度）
- ・羽村市公共施設等総合管理計画の策定（平成 28 年度）
- ・動物公園管理事務所・エントランス・外柵のリニューアル（平成 30 年度）

#### 生涯学習の推進

- ・第三次羽村市生涯学習推進基本計画（改訂版）（平成 20～23 年度）の推進

- ・羽村市生涯学習基本計画（平成 24～33 年度）の推進

#### 行財政改革の取組み

- ・第 1 次緊急経済財政対策の策定（平成 21 年度）
- ・羽村市版事業仕分け「公開型事務事業外部評価」の導入（平成 22 年度）
- ・第 2 次緊急経済財政対策の策定（平成 22 年度）
- ・行財政改革基本計画（平成 24～28 年度）の推進
- ・公の施設指定管理者制度導入及び運用指針の策定（平成 26 年度）
- ・経営管理システムの導入（平成 27 年度）
- ・第六次羽村市行財政改革基本計画（平成 29～33 年度）の推進
- ・クラウドファンディングの実施（平成 30 年度～）

#### 市民の安全安心のための行政運営（東日本大震災の対応含む）

- ・東日本大震災被災者への義援金の受付及び送金（平成 22 年度）
- ・東日本大震災被災地支援として、人的派遣及び物資搬送の実施（平成 22 年度）
- ・東日本大震災の影響による計画停電への対応（平成 22 年度）
- ・はむらサポートカード制度の導入による市内避難者への支援（平成 23 年度）
- ・全国瞬時警報システム（J-ALERT）の運用（平成 23 年度）
- ・防災マップ（災害ハザードマップ）の作成（平成 24 年度）
- ・市内事業者との応援協定の締結（市内事業者との連携強化）（平成 24 年度～）
- ・緊急速報メールの導入（平成 24 年度）
- ・防災行政無線の改修（増設 12 箇所、移設 3 箇所、改修等 38 箇所）（平成 24 年度）
- ・教育施設等への P H S 電話機の配備（平成 24 年度）
- ・官民共同によるソーラー標識街灯の設置（平成 24 年度）
- ・スポーツセンター耐震改修工事（平成 24 年度）
- ・災害時マンホールトイレシステムの整備（平成 24 年度～）
- ・地方自治体との災害時相互応援協定の締結（平成 24 年度）
- ・災害時要援護者対策の強化（平成 24 年度～）
- ・避難所への災害用特設公衆電話回線の敷設（平成 25 年度）
- ・市役所庁舎耐震改修等工事（平成 25～26 年度）
- ・市内小中学校体育館の耐震化工事（平成 26～28 年度）
- ・防災週間の実施（平成 26 年度～）
- ・庁舎への太陽光発電・蓄電池及び電気自動車用急速充電設備の設置、電気自動車の導入（平成 27 年度）
- ・羽村堰下橋、堂橋、羽村橋における耐震補強等工事の施工（平成 28・29 年度）
- ・避難所となる栄小・羽村東小・羽村第二中学校への太陽光発電及び蓄電池設備の施行（平成 28 年度）
- ・避難行動要支援者制度の実施、推進（平成 28 年度）

- ・水道管路耐震化更新計画の策定（平成 28 年度）
- ・羽村市業務継続計画（地震編）の策定（平成 29 年度）
- ・被災者生活再建支援システム（共用利用版）の導入（平成 30 年度）
- ・計測震度計システムの更新（平成 30 年度）
- ・小中学校防犯カメラの更新（平成 28～30 年度）
- ・防災行政無線（固定局）デジタル化整備（平成 30～令和元年度）

#### 【令和元年～】

- ・キルギス共和国を相手国としたホストタウン登録（令和元年度）
- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業  
（平成 25 年度（招致決定後）～令和 3 年度）
- ・第六次長期総合計画（令和 4～13 年度）によるまちづくりの推進  
私たちのまち“はむら”の将来像  
「まちに広がる笑顔と活気 もっと！くらしやすいまち はむら」
- ・第 5 次羽村市男女共同参画基本計画（令和 4～8 年度）の推進
- ・第二次産業振興計画（令和 4～8 年度）の推進
- ・羽村市一般廃棄物処理基本計画（令和 4～18 年度）の推進
- ・羽村駅西口土地区画整理事業に関する検証会議の開催（令和 4 年度）
- ・羽村市 D X 推進基本方針に基づく施策の推進（令和 5～8 年度）

#### 公共施設の整備

- ・羽村第二中学校体育館用冷暖房機の設置（令和元年度）
- ・気象観測装置の導入（令和元年度）
- ・羽村駅自由通路拡幅等整備（平成 28～令和元年度）
- ・グリーントリム公園の整備（平成 29～令和 2 年度）
- ・小作駅東口公衆喫煙所の整備（令和元年度）
- ・羽村駅東口及び小作駅西口公衆喫煙所の整備（令和 2 年度）
- ・羽村第一中学校体育館用冷暖房機の設置（令和 2 年度）
- ・羽村第三中学校体育館用冷暖房機の設置（令和 2 年度）
- ・小中学校の全生徒へタブレット端末の導入及び校内ネットワークシステムの整備（令和 2 年度）
- ・スイミングセンターでの日野自動車(株)羽村工場の廃熱活用実証実験（コージェネ大賞 2021 受賞）（令和元年度～）

#### 生涯学習の推進

- ・第二次生涯学習基本計画（令和 4～13 年度）の推進

#### 行財政改革の取組み

- ・ネーミングライツの実施（令和 4 年度～）

- ・ 公共施設マネジメントの推進（令和４年度～）
- ・ 自治体運営の方針の推進（令和４年度～）

市民の安全安心のための行政運営（東日本大震災の対応含む）

- ・ 防災行政無線（固定局）デジタル無線の運用（令和元年度～）
- ・ 聴覚障害のある方や、高齢者への防災行政無線個別受信機（文字表示装置）の無償貸出し（令和３年度～）
- ・ アプリ「Yahoo!防災速報」による防災情報の配信（令和３年度～）
- ・ 地域防災計画の策定（令和４年修正）（令和３年度）
- ・ 国土強靱化地域計画の策定（令和３年度）